

メッセージ for Kids ～川崎の子どもたちへ～

東京交響楽団 ジョナサン・ハミルさん(首席ホルン奏者)

こんにちは。東京交響楽団の首席ホルン奏者のジョナサン・ハミルです。

皆さん元気？毎日どんなふうに時間を過ごしていますか。私は毎日いろいろやっています。東京交響楽団はとても忙しいオーケストラです。毎日リハーサル、講演、レコーディングがあるからあんまり自由な時間がないですね。だから今は、できるだけいつもできないことをたっぷりやろうと思っています。例えば、毎日、音楽の編曲をしています。そして、料理をしています。実はこの大変な状況になる前は、全然料理しなかったですね。ほとんど毎日、外食していた。だけど、今、好きなお店がやってないから、自分で料理しないと結構大変なことになっちゃうから、毎日、料理の勉強をしています。あとは運動。あまり外出てないんだけど、家の中でも軽く運動できます。毎日やっています。

若い頃は、私はとても元気な子でした。よくしゃべったタイプでしたね。今でもたくさんしゃべるけど。友達にムードメーカーとよく言われましたね。でもたぶん、家族に聞いたらムードメーカーより、トラブルメーカーと言うかもしれないですね。なぜかと言うと、お父さんにいたずらをするのがすごい好きだった。

あとスポーツもたくさんやりました。サッカーを9年やったし、野球は6年ぐらいやったし、そして陸上もやりました。

友達もたくさんいたね。僕はアメリカのフロリダ州の出身で、とても暖かくて、どこに行っても海が近く、私のお父さんはヨットマンでした。だから、よく友達とお父さんの船に乗って、釣りをしました。

今、世界中はとても大変な状況になっていますね。皆さんは学校に行っていないし、友達に最近会っていないし、本当につらいと思います。でも私は、時々つらいことがあっても大丈夫と思っています。なぜかと言うと、つらいことが全然ないと人間として成長ができないと思う。だから、今はすごいつらいのわかるんですけど、このつらい経験の影響で、未来に皆さんはもっと強い大人になると思います。だから、そういうふうに頑張ってくれればとすごい嬉しいです。このシチュエーションが落ち着いたら、是非、皆さん東京交響楽団の演奏会で会いましょう。

僕は川崎の子どもたちを応援しています。